



令和8年度 学校だより 9月号

なかお



第481号

令和8年8月27日

発行者 横浜市立中尾小学校

校長 丹野 一郎

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/nakao/>

自然災害から「命を守る」意識を高め、新たな成長へ

校長 丹野 一郎

40日間の長い夏休みを経て、なかおっ子の皆さんが学校に戻ってきました。前回の学校だよりでお伝えした「心豊かになる体験を積み、自ら課題を解決する『釣り方(学び方・生き方)』を身に付けること」はできたでしょうか。校内を回りながら、子どもたちからたくさんの思い出話を聞けることを楽しみにしているところです。

さて、この夏休み期間中、国内では2つの大きな自然災害が発生しました。

一つは、7月28日に発生した「熊本地震(令和8年)」です。地震の規模はマグニチュード7.1、震源の深さは16kmで、県内の宇城市と氷川町で最大震度7を観測しました。多くの建物や道路が被害を受け、地域住民の方々は避難生活を送ることになりました。また、地震の後も余震が続き、長い間不安な生活を強いられ、現在も多くの方々が、断水や連日の暑さの中で、厳しい避難生活を送っています。

もう一つは、8月13日から14日にかけて千葉県を中心に発生した「千葉豪雨」です。千葉県では、13日夕方以降に線状降水帯が複数回発生し、気象庁は「記録的短時間大雨」を相次いで発表しました。また、県内の各地において、「レベル5 大雨・土砂災害特別警報」が、今年の5月の新たな防災気象情報の運用開始後、全国で初めて発表されました。観測史上最大級の雨量を記録するなど、大きな被害が広がりました。道路や住宅が浸水したため停電や交通機関の運休も発生し、多くの方々が避難を余儀なくされました。現在も豪雨の爪痕が残っている地域があり、住民の方々は元通りの生活に戻れていません。

被災された方々に心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興と、安心して暮らせる日常が戻りますことを心よりお祈り申し上げます。

思い返しますと、横浜市においても、先日の台風6号の影響を大きく受けました。本校では、6月3日早朝、大雨・土砂災害による危険が子どもたちに及ぶ可能性を考慮し、休校の判断を行いました。(その後、横浜市には、「レベル4 大雨・土砂災害危険警報」が発表されました。)

自然災害は、いつ、どこで起こるか分かりません。今回の熊本地震や千葉豪雨、そして横浜市を襲った台風による影響を通して、私たちは改めて「命を守ること」の大切さを考えさせられました。学校では、子どもたちの安全を第一に考え、今後も適切な判断と対応に努めてまいります。しかし、自分の命を守るためには、一人ひとりが日頃から防災への意識を高めておくことも大切です。ご家庭におかれましても、避難場所や連絡方法の確認、防災用品の点検などについて話し合う機会をもっていただければと思います。

夏休み明け以降も、学習や行事など多くの活動が予定されています。子どもたちには、夏休みに得た経験や学びを生かし、新たな挑戦に前向きに取り組んでほしいと願っています。そして、自分自身を成長させるだけでなく、友だちや地域の方々を思いやる温かい心も育ててほしいと思います。

教職員一同、子どもたちが安心して充実した学校生活を送れるよう力を合わせて支えてまいります。引き続き、本校の教育活動へのご理解とご協力、そしてなかおっ子の皆さんへの温かい励ましのお声かけをよろしくお願いいたします。